



九州大学とPwCコンサルティング、地域イノベーション人材育成に向けた共同プロジェクトを開始

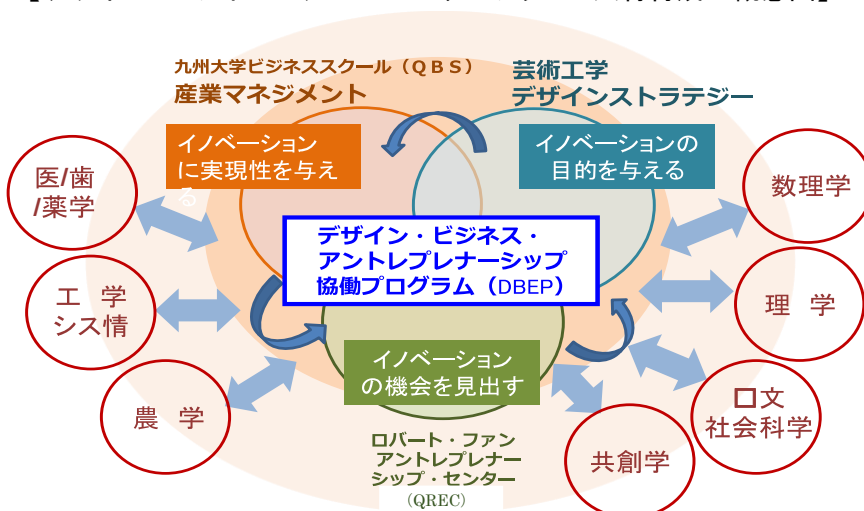
九州地域の産業振興と専門人材育成を推進する“知の拠点”を目指し、産学で連携

国立大学法人九州大学（福岡県福岡市西区、総長：久保 千春、以下、九州大学）とPwCコンサルティング合同会社（東京都千代田区、代表執行役 CEO：足立 晋、以下、PwCコンサルティング）は、地域イノベーション人材育成に向けて産学連携による共同プロジェクトを始動します。

九州大学では、2018年度から“デザイン”×“ビジネス”×“アントレプレナーシップ”による地域イノベーション人材育成に向けた取組を本格的に開始しますが、この取り組みに産業界からのパートナーとしてPwCコンサルティングが参画します。東京一極集中からの脱却を目的に地方創生施策が展開される中、地方に立地する大学には地域における“知の拠点”として中核的な産業振興と専門人材育成を担う役割が期待されています。九州大学は、西日本エリアを代表する総合大学として、国内屈指のデザイン教育・研究体制を有する芸術工学研究院、経営系専門職大学院として社会人教育に定評のある経済学府産業マネジメント専攻（QBS）、体系的なアントレプレナーシップ教育基盤をもつロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター（QREC）を有しており、2018年度からイノベティブな技術・アイデア・人材の創出モデル構築について本格的に取り組んでいく予定です。PwCコンサルティングには、世界最大級のプロフェッショナルサービスネットワークで得られたグローバルな知見を活かして、プロジェクトに参画してもらいます。

取組の一環として、九州大学ビジネス・スクール（QBS）に対して寄附講義「先端技術分析」を提供頂きます（2018年度後期、移転後の伊都キャンパスで開講）。さまざまな領域でデジタル化、ネットワーク化が急速に進み、集まった大量のデータを解析することで、人間を超える高度な判断が可能になりつつあります。AIやIoT等の先端技術が地域社会課題の解決や企業経営のあり方に大きなインパクトを与えることが予想される中、いち早くデータの利活用を通じて競争優位を構築し、急速な成長を実現している企業群を取り上げ、成功要因や将来像について考察する講義内容が予定されています。

【デザイン×ビジネス×アントレプレナーシップの人材育成の概念図】



研究者からひとこと：

デザイン／ビジネス／アントレプレナーシップが融合する領域は、イノベーションの“スイートスポット”でもあり、人材育成需要の高い領域です。組織の枠組みを越えた本取組みには、学内他部局や産業界の関心も高く、今回のPwCとの連携によって、人材育成プラットフォームの更なる発展を目指します。

【お問い合わせ】

大学院経済学研究院 教授 高田 仁 電話:092-642-4449 Mail:mtakata@econ.kyushu-u.ac.jp

芸術工学部総務課 古川康祐、海津 守 電話:092-553-4410/4442